



活号に渋谷区の社会福祉法人「中都」理事長・弓削出身の岡八代美さんのことと、彼女の関心事は都会生活者と田舎生活者は助け合いが出来ないのか、ということにあるようだ。その思いは彼女が若い頃から都会で弱者に向かい合う仕事をしてきたからかもしれない。都會で行き場を喪った人々を目の当たりにしたからか。また同じ故郷を離れた友人知人のその後を気遣つたり、あるいは彼女の望郷の念が強いからかもしれない。

改まつてそのことを質問したことはないが、故郷ある者に自分の故郷がどうなつてもいいと思う人はいないだろう。

**5年前、弓削通信に  
書きました・・・**

# あれからの5年

# これからの中の5年

復興ひと区切りとは  
言うけれど・・・

あれから5年たったかな？  
5年前は東日本大震災が発生した年。その時の大津波で壊滅的打撃を受けた東北地方の多くの地域は、同時に起きた東電福島原発第一発電所の炉心溶融事故で、いまだに住民の帰還がかなわないところがあり、住民の避難所生活も長く、先が見通せない怨嗟の声も多いと聞く。

などが言われ始めた。  
事故当時の政権も現政権も、5年たつていまだに決定的な事故が起らなければ取り返しのつかない原発の、未来像を曖昧にしてしまったままの再稼働が前のめりに行われはじめた。5年という歳月。なにかこじらをする場合でも、ひとつつの区切りとして用いられる時間だ。行政における5カ年計画などもそのひとつ。

未来像は誰が決めるのか？

われわれ一般町民にとって、うものは、どこか遠い話のよう

に思つてしまふもの。だが5年前も今も、そんなに変わつたもんじやないかとなると、その間様々な多額な資金を投入したにもかかわらず成果も無かつたことにもある。そうなら、あまりにも虚しい気がする。

町の未来像を描くのを、計画をつくることを本業とする業者に委ねるのもひとつ的方法かもしれない。しかし達成度の検査を、当事者がすることなくしては、未来像は永遠のあこがれの星となってしまう。

日々のたずきにからむるのは庶民の常なれど、ならば前向きばかりではなく、ときには後ろもありかえろう。

きどぐち かわ

青木喜代子

我が町には2000年から2015年にかけ取り組むべく「上島町総合計画」がある。計画では20015年の人口を7500人に維持するとしているが、現在7,523人で、年平均100人余で減っている。平成の大合併の条件、ひとつ目の自治体最低人口一万人を大きく割り込み、もう町と呼ぶのではなくはばかられるような実態だ。我々は好むと好まざるとに関わらずこの町の構成員である。その自覚をもつて2年前有志と「上島町自治研究会」を立ち上げた。月1回、町民目線で町が抱えている問題を語り合い、必

救うのではなく移り住みたくなる環境を提供する。それが結果として都会生活者と田舎生活者が助け合うことにならないか◆◆◆

5年前2011年3月の弓削通信には、左のような記事（：粹です）を書いた。5年後は生名・岩城橋が開通する予定



# 弓削通信 アキニックス

2016.3.15 №69 (通巻 196) Since 1991.6  
発行者 平山和昭 ☎&Fax 0897-77-3072  
〒794-2509 愛媛県越智郡上島町弓削土生 318-2  
メール yugureru3@ray.ocn.ne.jp  
フェイスブック <http://www.facebook.com/kazuaki.hirayama>  
ブログ [http://blogs.yahoo.co.jp/yugureru\\_fish](http://blogs.yahoo.co.jp/yugureru_fish)

## 海員組合を創った男・探訪

濱田國太郎を顕彰する会（参加自由）  
(毎月 25 日 13 時～。生名中央公民館 2F 青年学級室)  
(21)

21

当会は、國太郎顕彰を目的として準備会 1 年を経て一昨年結成された。この記事をみて活動に参加してみようという方は遅々として増えないが、それでもぼつぼつではあるが新たな参加者もある。

当会は活動の目に見える形として、かつて生名島の巣島にあった国太郎の等身大銅像の復活も目標としている。銅像は現地に残っている台座の上に立っていた。銅像が金属類供出令により政府に持ち去られたのは昭和18年とされる。太平洋戦争突入2年後、資源貧困が戦争遂行のため国中の金属類をかき集めた時期である。



※ 鋼像は台座と  
の身長1m70cm、  
2m50cm迄の大き  
さ比較。台座てつべ  
んは地上6m30cm

銅像は、建立時に撮影された写真から推計すると身長2.5メートルほどあった模様だが、國太郎自身は、これも残された写真でみると当時の日本人男子の平均身長1.6メートル弱のようである。

銅像復活に関しては月例会で検討を重ねていて復活しようとの方針は定まっている。むろん具現化には超えなければならないハードルがいくつかある。

資金調達の問題。立像の素材の問題。素材によって資金も制作会社の種類も変わる。設置の問題。現地はいわゆる重機の入って行けない場所である。昔日の人々があの巨大な建造物を設置できたのに、現代の我々が、重機が入れないと出来ないというのも癪な話だが、今の時代なりの方法をもって、地上 6 メートルの場に立像を据えるしかない。

設置できたときを想像してみる。あの高さから國太郎の眼路に映るもの想像する。

顕彰する会結成後 1 年で、ほぼいくら位の資金が必要かもみえ、施工の目処もたってきた。今年はいよいよオールを漕ぎだす年である。その節はどうか暖かいご協力をお願いいたします。

ご協力を頂いたよ。

## 選舉権の付与と選舉権の剥奪

# 議員活動錄

先月号では、代議制民主主義における民意と議会について、大まかな部分についてみてみました。今号は、そもそも代議制民主主義はどんなものか、ざっくり考えてみたいと思います。

國の仕組みと自治体の仕組  
ご承知のように一口に代議制民主主義とは言っても、国政と自治体行政とでは似て非なると前号でも触れました。

組でも、最終的な政策決定は国  
会と同じく議会の承認を得てな  
れます。

この承認のように一口に代議  
民主主義とは言つても、国政  
自治体行政とでは似て非なる  
前号でも触れました。

国政では行政を担うのは選  
で選ばれた代議士の一人が首  
となり組織された内閣です。  
内閣の決定した政策を各省庁の  
人が実施する。内閣組織外の  
議士は、与党、野党と立場は  
がつても一議員として国会と  
う議会を構成し、最終的な政  
決定に関しては、国会の承認  
求められます。

都道府県市町村にあつては、  
これもご承知のように行政の  
トップは首長とよばれ、単独にて  
権者による直接選挙で選ばれま  
す。議會議員も直接選挙で選ば  
れます。国と自治体は、いづれ  
も行政を担う者は選挙で選ば  
ますが、そのトップは選挙で選  
ばれ、片や単独にて選挙で選  
ばれます。

自治体では、政策は住民かこ  
行部を役人集団の中で構成し、  
議会を通して決定された政策を  
役人が実行する。

二元代表制と呼ばれるこの仕組

「ここで目を向けたいのが有権者と呼ばれる人々です。有権者というのは、そうでない者から、自らも含め大切な政治を行なう者を選ぶ作業を委託されていて、選ばれる政治家とともに質の委託と責任を負っているのではないか。参政権の「参政」とはそういう意味ではないでしょうか？」

民主主義というのは、有権者の意向（民意）を反映させた政策決定を目指すことです。代議制は有権者から選ばれた代表が、有権者から委任を受けた政治を行う制度です。間接民主制、代表民主制とも呼ばれます。ごく当たり前に考えるなら、代議制民主主義では、民意を反映させるべく議論が尽くされ、少なくとも民意に反する政策決定がなされるはずがない。

「民意」というものが、どう定義付けられるかも含め、政治の世界を複雑にしてしまう要素が実はここにあります。ということなので、ざっくりばらんに言えば、少なくとも有権者に約束をしない首長や議員を選んではならない。その約束を語らないですむ無投票選挙などあつてはなりません。

委託と、委託された者の責任をどう明らかにしてゆくか。委託した側からのされた者への責任を問う意思表示、つまり公約を守れなかつたときは、きつちり責任を問う実行力のことです。立候補・公約・当選後の活動報告。そして委託した側（有権者）の判断力と実行力。

よつて、公約の無い者の立候補などありえず、公約を果たさない者の再選もありえず。そういう公式が明確に行われる自治体なら、民意の実現は決して難しくはないと思います。

奈良県立万葉文化館コレクション

日本画でみる  
万葉の世界

月日賀子（吉嶋） 平成 10年 (1998)

3/12(土)-5/8(日)

休館日：月曜日 [3月21日(月・祝)は開館]

詳細は、尾道市立美術館 (Tel.0848-23-2281)

無料招待券あります  
0847-72-9188

<p>やよみ亭</p> <p>映画研究会（無料）</p> <p>3月15日（火）</p> <p>19時～自由参加</p> <p>「戦時徵用船」</p> <p>しられざる民間商船の悲劇</p>	<p>弓削野鳥の会</p> <p>3月探鳥会ご案内</p> <p>3月27日（日）</p> <p>午前9時～12時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●弓削中央公民館広場に集合。車で移動。</li> <li>●雨天中止。</li> <li>●双眼鏡があれば持参してください。なくて ま大丈夫です</li> </ul>
---	--

わたし  
黒川みき（大三島）  
アンテナ⑨

つい先日、石川県の志賀原発下の断層が活断層である判断が下りました。それを受けた北陸電力は「納得できない」として、新基準での審査を申請し意地でも再稼働させようとしているようです。人間はどこまで欲と恐れに酔いしれる気でしようか・・・。歴史は繰り返すためにあるのではなく、繰り返さないためにある。子供は大人の背中を見て育つていくのです。